カエ～ブ

8

2023 AUGUST

Vol.319

JA ひがしかぐら

http://www.ja-higashikagura.com

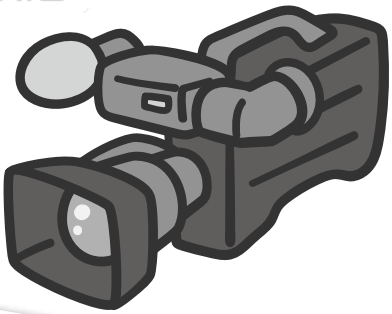
あぐり王国北海道 NEXT に出演しました！

6 月 24 日、毎週土曜日 HBC で放送されている『あぐり王国北海道 NEXT』に出演しました。今回の放送では稲荷 1 区　北川信一さん圃場にて撮影され、森崎博之さんやあぐりっこにピーマンの基礎知識の学習や、収穫の仕方だけでなく生のピーマンを試食したり、ピーマンが苦手な子供達でもおいしく食べられる様子を放送で宣伝することができました。

また、番組の後半では JA 東神楽女性部部長　小足隆子さん・ピーマン部会　部会長　三野俊二さんが出演し、ピーマン料理を振る舞いました。あぐりっこ達からは「無限に食べられそう！ピーマンの味がしっかりしておいしい！」という反応に「かわいいね～」とつい北川さんと小足さんの心の声が漏れている様子が見られました。

取材の様子はこちらから→

check ！



麦作生産部会 第35回 国際農業機械展

７月７日、東神楽町麦作生産部会では視察研修で帯広で開催された第 35 回国際農業機械展を訪れました。今回の国際農業機械展は５年ぶりでコロナが落ち着いた事もあって世界中のメーカーが出展しており、各地から沢山の来場者が集まっておりました。会場には上川地区ではあまり見られない巨大な農業機械が並んでおり、最新の技術や機能を備えた効率的で省エネルギーのトラクターやコンバインなどを興味深く見学しました。会員たちも研修を通して、地元に戻って自分たちの麦作りに役立つ知識やヒントを得ることができた研修となりました。

JA 東神楽 クリーンライス研究会 夏の青空教室開催

６月 27 日に JA 東神楽クリーンライス研究会主催の青空教室が開催されました。会場は、東神楽地区は久保宣夫さんほ場・(合) アグライズさんほ場、西神楽地区は佐伯拓也さんほ場の３会場で、各地区担当の普及センターの方から、幼穂形成期の確認方法や、前歴期間から冷害危険期の水管理、ケイ酸資材の追肥、病害虫防除のポイント等についての説明があり秋に向けての基本技術を再確認しました。

また、当日は気温も高く参加された方には田村ファームさんのアイスクリームをプレゼントさせて頂き大変喜ばれました。お忙しい中、青空教室にご出席頂きありがとうございました。

青年部交流会・懇親会開催

JA 東神楽青年部は６月 23 日に常勤役職員を招いて交流会・懇親会を、義経公園グラウンド、農協１号倉庫下屋にて開催しました。

今回の交流会では、運動会を企画し、各種目に全力で取り組みながらも、笑顔がこぼれる一面が多々ありました。優勝チームには前田牛（前田牧場提供）と商品券が渡されＭＶＰは中央８区の中村祐太さんが受賞されました。懇親会では常勤役職員と青年部員で焼肉を食べながら楽しく交流することができ、来年も企画できるようにしたいと思いました。

今回ご参加いただきました皆様、お忙しい中ありがとうございました

～JA 東神楽女性部 日帰り研修旅行～

６月 28 日（水）、部員 20 名の参加により、臼谷・増毛方面への日帰り研修旅行を実施致しました。

本店から西神楽支店を経由し、車中では小足部長にご挨拶いただいた後、留萌方面へ向かいました。天気が心配でしたが海に近づくにつれ青空が広がり、臼谷漁港直売所に着いた時には快晴で暑いくらいでした。臼谷漁港直売所では、皆さん新鮮なタコやホタテなどをビニール袋いっぱいにお買い物をされ、「おいしいね～」とタコの試食の手が止まりませんでした。昼食は増毛の「寿司のまつくら」で特上生ちらしをいただきました。新鮮で美味しいお刺身やウニなどが盛り沢山で、皆さんお腹いっぱい堪能していました。

国稀酒造にも行き、様々なお酒の試飲コーナーは大人気で、美味しかったお酒は自分用、またはお土産にと買われていました。その後、増毛の遠藤水産に寄り、ここでもエビなどの美味しい海産物のお買い物をし、レジは女性部一行で行列を作っていました。

皆さんスムーズにお買い物をしていただいた為、留萌の道の駅、駅前市場や漬物屋さんなどにも寄る事が出来、最後は深川の道の駅で皆さんそれぞれデザートを食べながら休憩し、帰路につきました。まる１日、お買い物ツアーでしたが、お買い物大好きな女性部の方々には楽しい研修旅行となったのではないかと思います。ご参加いただきました部員の皆様、大変お疲れ様でした。　女性部では、秋にも研修旅行を予定しておりますので、親睦を深める為多数の参加をいただければと思います。

小ねぎ講習会

６月 20 日（火）小葱部主催で本店集荷場横にて小ねぎ講習会が開催されました。

この講習会では、小ネギ栽培において起こりやすい病気や害虫について、営農支援室の髙木技師・吉井補佐が詳しく解説しました。防除方法や対処法のほかにも規格の確認や情報の共有など、参加者からは「非常に役立った」との声が上がりました。

今回お忙しい中、ご参加していただいた部会員の皆様ありがとうございました。

ＪＡ東神楽ふれあい年金友の会

６月 19 日（月）ひがしかぐら１４号河川敷運動公園にて第 47 回パークゴルフ大会を開催いたしました。

３２名の会員の皆様にご参加いただき青空の下開会式が行われ、岸本組合長からの激励のごあいさつを合図に大会がスタートしました。

この日はやや肌寒い気温となりましたが、皆さん元気にプレイされ、競技終了後の表彰式も入賞者が発表される度に拍手喝采がおこり盛会のうちに終了いたしました。

競技終了後は場所を１号倉庫へ移し、４年ぶりとなる焼肉懇親会が行われました。会うのは久しぶりな会員もおり、焼き台を囲んで楽しい会話が弾んでいる様子でした。大会・焼肉懇親会にご参加いただきました会員の皆様ありがとうございました。

当会では新規会員を募集しております。
楽しいお仲間達と一緒に行事に参加してみませんか？　　お問合せ先　金融課 TEL８３- ２３２２

西神楽年金友の会　パークゴルフ大会

西神楽年金友の会では、７月１４日（金）さと川パークゴルフ場にて第１２回パークゴルフ大会を開催致しました。

本来なら１３日（木）に開催予定でしたが、天気不良の為、日程を変更しての開催となりました。当日は２８名の会員の皆様にご参会頂き岸本組合長より激励のご挨拶を皮切りに大会がスタート致しました。前日までの天気とは違い青空の下、楽しい笑い声が響き皆さん元気にプレイされました。表彰式終了後には４年ぶりとなる懇親会を行い、ジンギスカンを食べながらプレイ中の出来事を話したり、お互いの近況を報告しあったりと楽しく親睦を深められていました。

少しずつでも、以前のような活動が出来てまた楽しく過ごす時間が増えればと実感する一日となりました。ご参加頂きました皆様、ありがとうございました。

1日バイトアプリ デイワーク daywork　農業バイトで雇用の安定を目指しませんか

JA東神楽管内でdayworkを利用している生産者は、6月末時点で15名です。募集した仕事は田植え補助や野菜の収穫等、様々な内容となっています。本年2月からの利用実績は以下の通りです。

◇2023年2月～7月の実績（JA東神楽）

集計項目	集計結果	備考
募集人数	647人	生産者が仕事に対して募集を行った延べ人数（件数）
応募人数	930人	仕事に対して応募のあった延べ人数（件数）
成立人数	643人	以下の応募状態を合計した延べ人数（件数）
マッチング率	99%	マッチング率＝成立人数÷募集人数
応募倍率	143%	応募倍率＝応募人数÷募集人数
中止率	3.40%	中止率＝仕事の中止件数÷仕事の登録件数
リピーター率	70%	仕事をした後にもう一度申し込みをしている人の割合

お問合せ先：JA東神楽農業振興課　0166-83-2243

栽培管理のポイント

＜全作物共通＞

施設栽培では、気象条件に応じた換気と遮光資材の利用により、高温障害や生理障害の回避に努めましょう。また、病害虫の多発期を迎え、早期発見と適期防除に努めましょう。

●ほうれん草・非結球あぶらな科葉菜類・小ねぎ

<高温対策>

▽高温による発芽不良や生育の不揃いを防ぐため、は種前のかん水を十分に行い、遮光を行うなどして地温抑制と土壌水分の確保に努めます。また、軟弱徒長を防止するため、十分な換気を行い、過度なかん水は控えます。

<病害虫防除>

▽アザミウマ、アブラムシ、コナガ類の多発期を迎えるため、発生状況をよく確認し、間隔を空けないよう定期的な防除に努めます。薬剤選択では、コナガやネギアザミウマに対する抵抗性個体群が認められているため、異なる系統の薬剤でローテーション防除を行います。

●ピーマン

<整枝作業>

▽秋季（低温期）における開花から収穫までの日数は、40 日程度です。そのため、8 月上旬までに主な枝の整理を終えるよう整枝を行います。

▽懐部の整枝管理をしっかり行いますが、側枝の伸長、果実の肥大など生育状況や着果数に応じて行います。
（過度の整枝は減収要因となります。）

▽収穫の遅れは草勢低下を招き、収量の山谷をつくる原因となります。株に負担をかけないよう適時収穫することが多収穫につながります。

<病害虫防除>

▽ハダニ、アザミウマ、アブラムシ等の被害が拡大すると、品質や収量が大きく低下するため、適期防除に努めます。なお、生物農薬を利用している場合は、天敵に影響の少ない農薬を選択する必要があります。

●アスパラガス

<病害虫防除>

▽茎枯病や斑点病の分生子は、降雨の 2～3 日後に増大する傾向にあります。防除のタイミングは、降雨前の予防散布が基本です。秋季まで茎葉を枯死させないことを目標に、定期的に薬剤散布を行います。

▽薬液は、茎葉のみでなく病原菌の主な生息場所である親茎の株元にも十分な量がかかるように散布を行います。また、防除効果を高めるために濡れ性が高い「展着剤」を加用します。

▽感染源を絶つため、発病茎は見つけ次第、取り除き処分します。

●水稲

玄米の伸長は出穂期（平年 7/25）後約２週間でほぼ玄米の大きさになり、以降は図１の「玄米の粒重と水分含有率の変化」の様に開花後 25 日目まで乾物重が高まりそれ以降は酵素の働きにより蓄積した糖をでんぷんに合成し、成熟期以降、急激に水分含有率が低下していきます。このように出穂期後成熟期までの約 45～48 日間（登熟期間）は光合成が盛んに行われるため出穂期後 25 日間は十分な土壌水分が必要です。

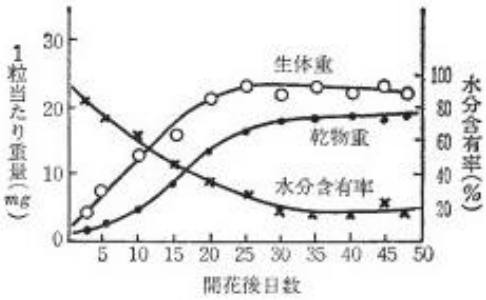


図１玄米の粒重と水分含有率の変化

２　登熟期間の水管理（表１参照）

表1　登　熟　期　間　の　水　管　理

生育期	出穂期		乳熟期	糊熟期	成熟期
出穂期後日数	0日		１４～２０	２１～２５	45～48
水深（ｃｍ）					
灌がい方法			間断灌がい・走水	間断灌がい・走水	間断灌がい・走水

(1) 出穂が始まったら直ちに入水

ア　開花・受精後、米粒は急速に成長するため、大量の水分を必要とします。
　出穂始になったらそれまで落水状態であっても直ちに湛水（水に浸かっている）状態にしましょう。

イ　**出穂始以降の水管理は走水または間断かんがい**を実施しひびが入らないよう保ちます。

ウ　登熟の初中期の高温（日中の気温が 29℃以上、夜温 23℃以上が５日以上続く）が予想される場合は乳白・腹白粒の発生原因となるため「掛け流し」を行い、株元の地温や稲周辺の気温を出来るだけ下げましょう（特に「ゆめぴりか」は発生しやすいので注意）。

(2) 落水期の判断と落水期以降の水管理

ア　**褐色低地土など排水良好田の落水時期**は、穂かがみ期（出穂後 25 日目前後）を目安とします（登熟終盤に必要な水分の目安は土壌水分 60%、長靴の底が 1cm 沈む程度）。
　用水路の断水前に 5～10cm 湛水をして、落水後の土壌水分を維持することも大切です。

イ　**グライ土など排水不良田**では、出穂期～出穂揃期に落水して根の活力を維持させますが、断根防止のため、１㎝以上のヒビ割れが生じないよう、走り水を実施します。

ウ　**胴割粒に注意**　胴割粒は登熟後半に玄米内部と表面の水分の差によって発生します。特に玄米水分が 22%以下になると急速に増加し、急な乾燥や反対に表面からの水分上昇が原因となります。直接要因となるのは①生育面では登熟のバラツキ、②登熟初期の高温、③早期落水、④刈遅れなどがあげられ、これらが組み合わされる事で被害が拡大します。

３　病害虫防除のポイント

(1)アカヒゲホソミドリカスミカメ（カメムシ）

出穂期後 10～20 日の間が最も吸汁加害の可能性の高い期間です。そのため出穂期とその後１週間目の基幹防除はカメムシを侵入させない事が重要です。３回目の追加防除の要否判定は、２回目防除終了後に捕虫網による水田内の「すくい取り」結果（20 回振り）で２頭（ななつぼしで１頭）以上入る場合は追加防除が必要です。
7 月 13 日以降、すくい取り・フェロモントラップ調査を毎週提供していますのでこれを参考にして追加防除判断をお願いします。

(2)いもち病など

降雨が有り蒸し暑い日が続くと、いもち病や紋枯れ病、ウンカの被害等が発生しやすくなります。（写真１・２）基幹防除終了後にほ場を観察し葉いもち病・穂いもち病や紋枯れ病等、局所的に茎葉の坪枯れ症状や白穂等病害が疑われる場合は農協にご連絡ください。

写真１穂いもち病

写真２　紋枯れ病

2023年　北海道産

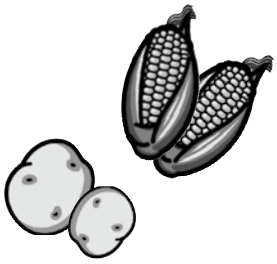
スイートコーン じゃがいも

地方発送のご案内

ＪＡ東神楽からお届けする上記商品を是非ご賞味ください。

■受付取扱期間　スイートコーン　8月10日 まで
　　じゃがいも　8月10日 まで

■発送時期（予定）　スイートコーン　8月17日 以降
　　じゃがいも　9月　4日 以降



■商品内容・価格

商品記号	商品名	発送先区分						
		北海道	東北・関東・信越		北陸・中部・関西		中国・四国・九州	
			青森県	栃木県	富山県	大阪府	岡山県	福岡県
			秋田県	群馬県	石川県	京都府	広島県	佐賀県
			岩手県	埼玉県	福井県	滋賀県	島根県	長崎県
			宮城県	千葉県	静岡県	奈良県	鳥取県	熊本県
			山形県	神奈川県	愛知県	兵庫県	山口県	大分県
			福島県	山梨県	三重県	和歌山県	愛媛県	宮崎県
			東京都	新潟県	岐阜県		香川県	鹿児島県
			茨城県	長野県			徳島県	
							高知県	
D	スイートコーン (5ｋｇ13本)	3,800円	4,100円		4,500円		4,900円	
E	男爵 (10ｋｇ)	3,300円	3,700円		4,000円		4,500円	
F	キタアカリ (10ｋｇ)	3,300円	3,700円		4,000円		4,500円	

【お問合せ】

営農販売課
電　話　０１６６-８３-２２４１
ＦＡＸ　０１６６-８３-３２２９

西神楽営農センター
電　話　０１６６-７５-４２１５
ＦＡＸ　０１６６-７５-４３２１

JA女性部・青年部が考えた!!

ご飯がすすむ農家めし in みはら食堂

上川地区13JAの女性部・青年部で、上川管内の農畜産物をつかったメニューを開発

1週間ごとに限定メニュー を提供します！！

メニューのレシピを みはら食堂で 配布しています

1日30人前限定！ バイキング形式！ お1人様 ¥980

夏 期間 7/10〜9/1

- 夏 たいせっ 7月10日〜14日 — ナス・ピーマン・トマト・夏野菜ガパオ風カレー
- 夏 あさひかわ 7月18日〜21日 — 野菜たっぷり 豚しゃぶと春菜のサラダ・パプリカ
- 夏 びっぷ町 7月24日〜28日 — オクラ梅肉巻き・オクラ
- 夏 当麻 7月31日〜8月4日 — きゅうり・ミニトマト・ミニトマトときゅうりの中華風ツナサラダ
- 夏 ひがしかわ 8月7日〜10日 — トマト・ブロッコリー・ブロッコリーを使ったトマトリゾット
- 夏 道北なよろ 8月21日〜25日 — ようもろこし・牛乳・スイートコーン入りキーマカレー
- 夏 東神楽 8月28日〜9月1日 — ピーマン・バターに巻き小寺せるピーマン

冬 期間 10/30〜12/8

- 冬 ふらの 10月30日〜11月2日 — もち米・ふらの産もち米と野菜の入った肉団子
- 冬 上川中央 11月6日〜10日 — きのこ・かぼちゃときのこのキッシュ
- 冬 北はるか 11月13日〜17日 — じゃがいも・じゃが豚キムラ
- 冬 びえい 11月20日〜22日,24日 — ゆりね・百合根・ゆりねサラダ
- 冬 北ひびき 11月27日〜12月1日 — キャベツ・千切りキャベツの豚肉巻き
- 冬 東旭川 12月4日〜8日 — さつまいも・レーズンの入ったさつまいもサラダ

農業のために 地域のために 明日のために
JA共済の 地域貢献活動

©2017 JA-KYOSAI

みはら食堂 旭川市宮下通４丁目JA上川ビル1F

営業：11:30〜14:00（LO（ラストオーダー） 13:45） 休／土日祝

主催：JA上川地区女性協議会・JA上川地区青年部協議会

TEL 0166-23-5874 駐車場１時間無料

Instagram JA_JOUSEIKYOU5874

ＪＡ東神楽「臨時休業」について

部　　署	8月15日 （火曜日） 盆休	8月16日 （水曜日） 盆休	9月1日 （金曜日） 東神楽神社祭	9月2日 （土曜日） 神楽神社祭
総務部管理課	**休業**	**休業**	**休業**	午前営業
営農部（事務所）				
本店資材				
農機センター				
整備工場				
営農販売（青果）	受入	受入	受入	受入
西神楽営農センター	**休業**	**休業**	営業	**休業**
西神楽資材				
金融共済（本店）	営業	営業	営業	**窓口休業** ATM 9:00～14:00
西神楽支店				
旭川支店				
本部給油所	営業	営業	営業	営業
西神楽給油所				

西神楽資材より**千代ヶ岡肥料倉庫**についてお知らせします。

千代ヶ岡肥料倉庫は現在職員不在で、ご利用の際に西神楽資材（75-4214）までご連絡頂き対応しておりますが、８月１７日以降は下記のように変更させていただきます。

◆期間　7／1(土)～8月末日　　**◆駐在日程　月・火・水…駐在　木・金・土…不在**

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
○	○	○	×	×	×

※不在の日にご利用の際はご連絡いただければ対応致します。

令和5年度

農業用不用農薬の受入について

農薬の期限が切れ、処理にお困りの方がいらっしゃいましたら、下記要領にて不用農薬の回収を行います。農薬の成分により処理料金が異なります。また、農薬名がわからない場合は、成分検査を行い、成分の特定をしますので、別途検査料金が発生します。

不用農薬 受入日時・受入場所について

■受入日時

令和5年8月24日(木)
AM9:00～12:00まで

■場　所

東神楽地区　本店資材燃料課
西神楽地区　西神楽資材店舗

農薬の処理料金について

農薬の処理料金につきましては、農薬の種類、数量(kg)によって処理費用が変動します。従いまして、当日の回収が終了し農薬の種類別に集計した後に処理料金が確定しますのでご了承下さい。

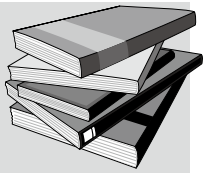
また、農薬成分がわからないものにつきましては、成分検査を行い成分内容を解明してからの処分となります。

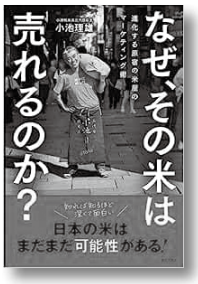
お問い合わせは　本店 資材燃料課 ☎83-2121　西神楽 営農センター ☎75-4214

今月の配本図書

JA 東神楽農業文庫
※東神楽町図書館でご利用いただけます

図書に関するお問い合わせは
農業振興課TEL 83-2243





なぜ、その米は売れるのか？（進化する原宿の米屋のマーケティング術）

小池　理雄（著）

東京・原宿で売り上げを伸ばし続ける元・コンサルタントのカリスマ米屋の本当に使える“お米のマーケティング＆ブランディング術”！キャットストリートの一角にある原宿・表参道唯一の米屋、小池精米店。３代目の小池さんは書籍編集者やコンサルタントの職を経て、家業の米屋を継いでからというもの、米の消費量が落ち込むなか、売り上げを３倍にまで伸ばしました。全国を飛び回り、取り扱う米の品種は 100 種類以上、講演会やメディア取材が殺到しています。「米」は、知らない人はいない身近な食品にもかかわらず、販売コンサルタントの世界では「米だけには手を出すな」と言われるほど差別化が難しい商材。新品種が続々と登場するなか、生産者や産地を悩ませる「どうやったら米が売れるのだろうか？」という疑問に、産地と消費者の間に立つ米屋だからこそ確立したメソッドで答えます。生産者のみならず、お米の実需者、消費者も知らない目からウロコの知識が満載。

山下惣一　百姓の遺言

山下　惣一（著）

2022 年 7 月に亡くなった農民作家・山下惣一さん、最後のメッセージ
「農なくして国が成り立つか」「農の原理は循環であって成長ではない」食の安全保障が脅かされる今こそ伝えたい、大切なこと
長引く円安やウクライナ侵攻などによって食糧価格が高騰しています。日本は、これまでのように「海外から安く食料を買ってくる」ことが難しくなっています。「生涯一百姓」を貫き、米の減反政策や農業の規模拡大を進める農業政策に異議を唱え続けた山下惣一さん。本書は、昨年惜しまれつつ逝去された山下さんの半生を振り返るとともに、日本の農業に関する時代ごとの提言や晩年のエッセイのほか、1979 年に直木賞候補作となった『減反神社』も収録。

70 歳からのかる～い 1 分筋トレ＆ストレッチ

山口　晃二（著）

年を重ねると、カラダのあちこちに不調が出てくるものです。腰が重ダル～くなったり、肩が岩かと思うほどにこったり、背中が鉄板のようにガチガチになったり……。ストレッチチェーン「ストレチックス」は、そんな方々の駆け込み寺。じつは、病気以外の痛みやコリの大半は、血管中に溜まった起炎物質が原因であり、ストレッチや軽めの筋トレで血流をアップすれば、改善が見込めるのです。本書では、おおぜいの人々のカラダのお悩みを解決してきた人気店のトレーナーが、ご自宅で行える３８個のエクササイズをご用意しました！腰、肩、背中、首、腕、足、膝 etc. 全身スッキリさせて、気持ちのいい毎日を取り戻しましょう。もちろん予防にもなりますので、健康をキープするためにもお勧めです。

令和5年 道内市場休開市日程表

■印の日は休市です　◯印の日は臨時開市です

8月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

13～15日　お盆休み
2、9、23、30日　臨時休市
11日　臨時開市

9月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

18日　敬老の日
23日　秋分の日
6、13、27日　臨時休市

詳しくは東神楽地区 営農販売課 ☎83−2241・西神楽地区 営農センター ☎75−4215 までお問い合わせ下さい。

今月のスナップ

西神楽7区　香川純一郎さん　小ねぎ皮剥き・選別作業

千代ヶ岡7･8区　小畑和哉さん　カルチ除草作業

編集後記

皆様いかがお過ごしでしょうか?最近は暑い日々が続き、身も心も干からびてしまいそうです。さて、個人的な話題ではありますが、先日上富良野のラベンダーライトアップイベントに行ってきました。普通ラベンダーは夜見えませんが、幻想的な演出のライトアップをすることで光艶やかなラベンダーを見ることができました。これを機に自分も仕事でライトアップされるような人間になれるよう日々精進して参ります。(西)

今月の表紙

今月は東神楽地区　東聖6区

島田 和弥さん 龍弥さん

ご協力いただきました！　ありがとうございました！

JAひがしかぐら ウェーブ

Vol.319　令和5年8月号

東神楽農業協同組合　☎TEL 0166-83-2321
〒071-1512　北海道上川郡東神楽町北1条東1丁目2番1号